

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2391500085		
法人名	ケアサービス株式会社		
事業所名	グループホームかなれ		
所在地	愛知県名古屋市名東区猪子石原三丁目2713番地		
自己評価作成日	平成24年2月29日	評価結果市町村受理日	平成24年5月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル		
所在地	愛知県名古屋市中村区椿町21-2 第2太閤ビルディング9階		
訪問調査日	平成24年3月9日	評価確定日	平成24年5月2日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設内の環境整備(毎日の清掃、整理整頓)食事作り前の手洗い、手消毒と使用した布巾やまな板等の除菌、消毒。その人らしく生活をして頂ける日々の工夫。利用者様に合わせた献立作りと調理の工夫。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人の理念とホームの理念があり、「かなれが目指すもの」として9項目の暮らしを掲げている。職員は入居者一人ひとりの「その人らしさ」を大切に支援している。また、人生の先輩としてできることを行ってもらい、皆と楽しく安心して暮らせるよう努めている。ホームでは毎日、申し送りを朝、昼、夕方の3回行い、入居者の状態について話し合っている。困っていることや注意事項など何かある度に話し合いができ、情報の共有を徹底している。居間の窓からはみかんの木が見え、2階からは畑の野菜も見え、季節を感じる事ができる。また、3階の屋上では、天気の良い時にテーブル、椅子を持ち込みお茶を楽しんだり、周りの景色を眺めることで気分転換を図ることができる。ホーム内の掃除が行き届いており、入居者も職員と一緒にできることを行っている。家族アンケートの結果からも「いつも清潔で職員は明るく対応してくれている」と評価を得ている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の意識は薄い。利用者様が毎日安心して過ごせるよう努めている。その為に日々の申し送りや必要に応じてミーティングを行っている。	法人の理念と「かなれ」が目指すものとして9項目の暮らしを掲げている。毎日の繰り返しの中で、手を差し伸べ寄り添う介護を目指している。職員はその人に応じた自立支援を大切に、その人らしく生活ができるよう理念を念頭に支援している。休憩室に理念を掲示することで、職員はいつも目にし意識することができる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出や散歩の時にご近所様と会う機会があれば積極的に挨拶をする。地域の中学生さんの職場体験の受け入れをしている。	町内会に加入し、月当番として回覧板を回したり、町内会費の徴収などの役割を担った。近隣の方とは散歩時に挨拶を交わし、時には花や野菜など頂くことがある。地域の運動会に参加したり、町内廃品回収に協力している。中学生の職場体験やヘルパー実習生の受け入れもしている。また、手品やフラダンスなどのボランティアの訪問もあり、入居者の楽しみになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行われていないと思う。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で話された課題をサービス向上に向けて活かされるよう努めている。	家族、自治会長、民生委員、知見を有する者、千種さんクリニック相談員の参加を得て、今年度は4回開催している。会議では活動報告や行事報告、入居者状況について説明し質疑応答を受けている。	メンバーから意見や助言を得ることができるよう工夫が期待される。また、いきいき支援センター職員の参加が得られるよう、働きかけることも期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行われていないと思う。	市町村との関わりは全て会社の総括が行っており、ホームとしては余り関わりがない。その中で認定更新に家族が行けない時には管理者が出向き、その際情報など得ている。いきいき支援センター主催の施設見学会に地域の方がホームを見学した。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束をしないと認識している。ただ安全の為玄関の施錠はしてある。	職員は身体拘束についてマニュアルを閲覧したり、会議で話し合っている。どんな時でも尊厳を保たれた暮らしができるよう支援しているが、交通量の多い道路に面している玄関や、死角となる2階入ロドアは家族に説明し、了解を得て施錠している。帰宅願望のある方は止めるのではなく、本人が落ち着くまで職員は一緒に歩いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々のケアの中で職員同士利用者様に向けて、虐待が見過ごされる事が無い様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じてケアカンファレンスを行い話し合い活用出来るよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約等は責任者が行っている。ご家族様から不安や疑問に関して尋ねられた場合、丁寧に返答させて戴いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の意見・要望をお聴きし、職員間で話し合い反映させている。	入居者の意見や要望は日常の中で聞いている。家族からは面会時に管理者や職員が日常の様子を伝え、コミュニケーションを図りながら聞いている。家族から「できるだけ歩かせてほしい」との要望に対し、職員で話し合い、気を付けながら手引き歩行で対応している。	面会になかなか来ることができない家族に対し、入居者の日頃の様子が分かるような「ホーム便り」を定期的作成し、家族に情報提供されることを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や日々の申し送りなどで、意見や提案を聞き反映出来る事は、して貰っている。	職員は申し送りや会議などで意見や提案をしている。管理者は日頃から職員の表情や仕草を見て悩んでいる時には声をかけ、ゆっくり話を聞く場を設けている。職員の気づきから入居者のベッドの高さやスリッパをシューズに替えるなど、入居者の生活がより豊かになるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回自己評価票を作成して、職員個々の把握努めている。常に状況に合わせ職場環境・条件の整備に努めていると思う。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受けれる、機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修等に出向いた折に他の施設の方とその研修会にて交流する程度。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご本人宅へ訪問・面会し要望等をお聴きしてご本人様の安心を確保する関係づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の意見・要望をお聴きし安心を確保する関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様の要望の下職員で話し合い対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自身で出来る事は、見守り支援している。レクレーションなどで皆様と親睦をはかり、共にする同志の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が面会に来られた折に、本人様とゆっくり過ごして戴けるよう環境作りに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	特に行われていない。	家族の協力を得て定期的に美容院に出かける方や、墓参りに行く方、馴染みの喫茶店に行く方など、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。また、遠方の友人が訪ねて来て、居室でおしゃべりを楽しんだり、孫の結婚式に出席するなど、今までの関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室に閉じ籠もり孤立しないよう声掛けをして皆様と、関われるよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	先方から、問い合わせ等があれば対応している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様に傾聴して、職員全体で把握出来るよう日々の申し送り等で話し合いに努めている。	日々の生活の中で職員は入居者の思いや意向の把握に努めている。把握することが困難な入居者には、日頃の様子や食欲、表情から汲み取ったり、家族に相談して支援している。理念にもある「入居者の思いや意思が大切にされる暮らし」を実現するために、職員はコミュニケーションを取りながら、自己決定ができるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様に傾聴したり、ご家族様から戴いた情報を元に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録やサービス提供日誌に記録を残し、その上申し送り等で共有して現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスやミーティングを行い介護計画を作成している。	職員は担当制になっており、3カ月毎に目標の達成度や新しい生活課題などをシートに記入している。入居者や家族の意向を踏まえ、職員の意見が反映された介護計画を作成している。6カ月毎にサービス担当者会議を行い見直している。また、状態に変化があればその都度見直し、現状に即した介護計画になっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に記録に残し、申し送りや会議等で情報を共有し活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る範囲支援出来るよう努めているがサービスの多機能化に取り組めてはいない。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源については、把握していないが…自身で出来る事はやって戴けるよう支援しながら安全で豊かな暮らしを楽しんで戴けるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設では医療連携を取っている、かかりつけ医によって隔週に往診して戴き支援している。その他に必要なに応じて、ご家族様が希望され他の医療機関へ行かれる際は、情報を提供して支援している。	ホームの協力医である内科医の往診を受けている。看護師の訪問もあり、毎週月曜日に来て健康管理を行っている。歯医者等へは、家族が付き添っている。家族が付き添えない場合は、職員が同行している。家族への連絡は電話を中心として報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週月曜日に訪問看護に来て戴き、利用者様の状態の報告や相談をして、その情報を元に適切な診察がして頂けるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	本人・ご家族・病院関係者の方々と情報交換を行い、必要に応じ相談・話し合いを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早めにご家族様・医療機関等と話し合いの場を設け、事業所での出来る事を説明しながら、方針を共有し支援出来るよう取り組んでいる。	重度化や終末期の対応については、入居の契約時にホームの方針について説明している。医療行為が発生した場合にホームで対応できることが限られていることから、看取りの体制は整えていない。入居者の状態に応じて医師に指示を仰ぎ、本人、家族、関係者と相談し入居者にとって一番よい方法を検討している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	上級救命の講習等に参加した職員が数名いる。その他緊急時対応マニュアルを作成してある。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防点検・訓練を行っている。	防災訓練を年2回計画している。2月には初期消火訓練を実施しているが、入居者の参加には至っていない。緊急時には地域に住む職員がかけつけることができる。災害時における備蓄品として水や食料品を準備している。	災害時に備え入居者と一緒に訓練を行うことや、地域との協力体制を築いていくことができるよう今後の取り組みに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常言葉掛けに十分配慮している。 トイレ・入浴・更衣時には特に気を配ります。	言葉かけを大切にして入居者の自尊心を損ねることのないよう取り組んでいる。職員は本人の想いや意欲を尊重し、本人が自己決定できるような声かけや、促し方を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛け・傾聴し自身の思いや希望を話して戴けるよう支援している。なるべく自己決定して戴けるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ほとんど職員側の都合で、一日の流れが決められてはいるが、個々の利用者様の状態に応じては、希望に沿えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時着替えの洋服を一緒に選んだり、化粧をされる方には、見守りや・声掛けをしたりして支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に下ごしらえや、盛り付け・後片付け等を手伝って載っている。食事での個々の好き嫌いや食べられる量的なども職員間で把握をしている。	食材の配達を業者に依頼している。食事の準備や調理に入居者が関わることは少ないが、入居者に声をかけできることを行ってもらっている。月に1回程度、誕生会やひな祭り等の行事の時は、ケーキ作りやタコ焼きを職員と入居者が一緒に作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に食べられる量を把握し提供している。日々食事等の摂取量や水分量の記録を取っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの促しや介助を行っている。義歯の方は夜間お預かりをして薬剤にて殺菌消毒をしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助の必要な方は、排泄パターンを把握してトイレ誘導をしてトイレでの排泄習慣を支援している。自立されている方も、食事前等には声掛けをして排泄を促したりしている。	トイレはカーテン式とドア式と2種類あるが、カーテン式を利用している入居者が多い。カーテン式の場合は、使用しているかどうか声をかけて確認している。排泄チェック表があり、入居者の排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるよう職員は声をかけ誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々排便状況を記録して把握している。水分を十分摂取して戴けるよう提供したり、毎日体操をして戴いたりしている。便秘時には、医療機関へ上申して早めに対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日・時間帯は決めてある。ゆず湯・菖蒲湯などで楽しんで戴けるよう支援している。	入浴は週3回支援している。午後から、5～6名が入浴している。入居者の状態に合わせて機械浴も利用している。季節に合わせてゆず湯やしょうぶ湯等、変わり湯を楽しんでもらっている。体重測定は1か月に1度実施し健康管理に努めている。入浴時間以外は転倒防止のために入口は施錠している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて、休息して戴けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイル中に服薬している説明書が入っているので、目を通し把握している。日々服薬介助者を決めており、十分に配慮をして個々に服薬して戴いている。症状に変化があった場合は、直ちに医療機関へ上申して指示を貰っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常の中で、役割分担してお手伝い等をして載っている。 日々散歩へ出掛け季節を感じて載いたり、時には喫茶店や甘味所へ出掛ける支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望に沿ってはいないが、外出する機会を設けられるよう支援している。	天気の良い日は入居者に声をかけ、2~3人の小グループで近所を散歩している。近くにはショッピングセンターがあることから、おやつを食べに出かけており、入居者も楽しんでいる。	入居者の希望に添った外出支援についても検討されることを期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方は、ご自分で金銭を所持しているが、ほとんどの方がご自分では所持されていないので、外出時での支払いは、職員がその都度代行している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、かかって来た場合のみ使用して載っている。手紙やはがきにしても、自ら書いて出される意向は、無く届いた手紙やはがきなどを一緒に見せて載いたり代行して読ませて載っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は毎日清掃をして清潔にしている。季節感を取り入れた絵や折り紙を飾っている。カーテン・照明で明るさを調整して、室温もエアコンや床暖などで調節して工夫している。	リビングの窓は大きく日当たりが良い。外にはみかんの木や野菜畑が広がっている。四季折々の絵が飾られており、掃除も行き届き清潔に保たれている。限られた空間の中で、ソファやテレビ台の配置を工夫することにより、入居者が居心地よく過ごせるよう取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々、利用者様同士の状態に応じて居場所を検討して、対応して行く。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや机などを置いて載っている。ご家族様により写真などを飾っている。	居室の入口には名前が貼ってあり、その下には入居者と職員で一緒に作った四季折々の折り紙や塗り絵が飾られている。掃除はモップがけを職員が行い、入居者にも声をかけホウキを使い一緒に掃除している。居室には写真やトロフィー、馴染みのカバンや化粧品、教本等が置かれ、その人らしい居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札・トイレ・浴室の表示をわかりやすくしている。		



### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2391500085		
法人名	ケアサービス株式会社		
事業所名	グループホームかなれ		
所在地	名古屋市中東区猪子石原三丁目2713番地		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設内2ヶ所に掲示されている。 家族的な雰囲気その人らしい暮らし等、職員は理念を念頭に置き心掛けている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時、近隣の方に会ったら積極的に挨拶している。 地域の中学生の職場体験実習の受け入れをしている。町内会に入っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	不明		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での話し合いを元に、サービス向上に活かしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	不明		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全体、身体拘束はしないと理解している。 玄関に限り交通量が多い道路に面しているので安全の為施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修へ行った折に学び、他の職員へ伝えたりしている。 日々虐待防止に意識し、声掛けにも注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	不明		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時管理者から十分な説明がなされ、理解・納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特に機会は、設けていないが、要望等を戴いた折に管理者に伝え運営に反映されるよう努めている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り・ミーティング等で、管理者に伝え反映されるよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めているようだが、把握されているかは解らない。2人夜勤は実施されずだが、1Fにモニターが設置された。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正社員は時々外部研修が行われる。 職員の質・向上・学びの確保。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所内外での研修		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階での家族・本人へのアセスメントの確認。 利用者様お一人一人の声に耳を傾けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の立場に立ち話を聴き受け止める支援。 本人・家族間の信頼を支える姿勢		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望を知り対応する支援。 利用者様への納得出来る段階的支援。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の個性・暮らしを知り関わって行く。 一緒に洗濯物をたたんだり、得意な事を手伝って載けるよう支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族との良好な関係が保たれるよう、時に提案を行い共に本人と一緒に支えて行けるような関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	積極的に行っていない。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、座る場や役割分担したり、常に行事に参加されない方にも孤立しない様支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	求められた場合に限り情報を提供している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	伝えられる方には、思いや希望を聴くように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族から戴いた情報書を参考にしたりご家族から伝えられた情報を元にコミュニケーションに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	把握に努め、新しい発見等も共有するようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員にて、アセスメント・モニタリングを行いケアマネが中心となり介護計画作りに関わっている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子・ケアの記録を参考に介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新しいニーズについて職員間で話し合い対応出来るよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的なヘアカット・ボランティア受け入れ(手品・ギターなど)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間医療連携体制・隔週の往診時の支援。 利用者様の中では、それ以外のかかりつけ医を持たれている方もいるので情報提供への支援をしている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎月曜日に訪問看護があり利用者様の状況報告を行い、異変時の早めの対応に繋がるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	本人・家族や医療機関等に情報提供を努め早期に退院出来るよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者から、ここで出来るケア、出来ないケア等を早めに伝え、家族や医療機関と連携を取り支援に努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行っていないが、一部の職員が上級救命訓練の講習会に参加した。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防点検・訓練が年2回実施されている。水や食料の備蓄をしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々をなるべく尊重して、プライバシーを損ねない言葉掛けに気を付けている。申し送り等では、個人名を小声で言うようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り、利用者様の思いに気付けるように気を配っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	他の入居者様に影響が出ないよう、柔軟性を持つよう気をつけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔な服、季節気温に合った服、化粧・髪型等その人らしいお洒落を楽しんで戴けるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	下処理・盛り付け・テーブル拭き・食器拭きなど手伝って戴き、楽しんでやって戴けるような支援を行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	希望・体調・体重を考えた食事量、咀嚼・嚥下・義歯の状態に応じキザミ食・ミキサー食・トロミをつけたりして提供している。必要な食事量が摂取することが不足してくる場合は、医療機関と連携を取りエンシュアHを飲用して戴いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯等の夜間洗浄を実施している。個々に応じて介助にあたっている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人のリズムに合わせたトイレ誘導等トイレで排泄が出来るよう支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が多く摂取出来る食材を工夫した献立等や体質に合わせた予防方法を探るようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴を楽しんで戴けるように支援している。季節に応じゆず湯・菖蒲湯など提供している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠して戴けるよう日常生活の支援。入眠して戴きやすい夜間の環境作り。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ほぼ理解している。日々観察をして医療機関との連携に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の興味、出来事を探し役割等を持って戴ける支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り散歩等にお誘いして気分転換、季節感を感じて戴く。時には喫茶店に向く。家族様が外出等を支援して戴ける方も数人いらっしゃる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様方々のトラブルや不穩の原因に繋がるので、管理者が一括してお小遣い程度の金額を預かって、必要に応じ支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけて頂く支援はしていないが、そういった事を望まれる利用者様には、ご家族様をお願いして先方から電話をかけて頂くよう支援している。手紙や葉書など利用者様が希望されれば、出来る限りの支援をさせて戴く。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	風呂場・お手洗いなど目で解りやすい様プレートを付けてある。暖房は、リビングのみ床暖を使用しているため乾燥しづらく足元が温かい。 居間は、日当たりが良く窓からは季節感が感じられる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで座って戴く個人の椅子やくつろいで戴けるよう長椅子のソファ。廊下で一休みして談話して戴けるといい畳作りの長椅子などの配置の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	支障が無い限り、家具など馴染みの物や使い慣れた物を持って来て戴いて使用して貰っている。常に居室等も清潔に使用して戴けるよう清掃している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険のあるもの、薬等はすべて手の届かない所へ保管してある。		



### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が、年4回実施出来ずいきいき支援センターの参加が出来ていない。	運営推進会議を年6回を目標として取り組んでいきたい。いきいき支援センターにも声かけをして参加を呼びかける。	2か月に1回主催出来るよう、取り組む段取りをする。参加していただいた方々からの意見や助言を反映していけるよう取り組みたい。	2ヶ月
2	35	災害対策に関して、入居者を交えての消防訓練が出来ていない。	災害における、入居者を交えての訓練を行う。	年2回の訓練時に利用者も交えて訓練していけるよう取り組む。その際に夜間想定での訓練も同時に行うよう取り組みをする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。